

平成15年6月11日付 日本経済新聞 掲載

2003年3月期連結  
ROEランキング  
(単位%、百万円)

順位	社名	ROE	最終利益
1	フィールズ	58.6	3,786
2	アネストワン	53.1	2,312
3	ヒューマネジ	47.8	1,134
4	ヤフー	47.7	12,096
5	フージャース	46.0	477
6	菱和ライフ	42.4	2,442
7	サンウッド	41.7	426
8	テレウェイク	41.3	616
9	旭ホームズ	41.1	92
10	レオパレス	34.1	18,781
11	幻冬舎	33.0	1,251
12	マーベラス	31.6	281
13	オーケー	31.5	308
14	シグノ	30.0	815
15	新日本建物	29.8	1,232
16	エフティコム	29.0	771
17	サリィ	28.7	944
18	インボイス	27.7	468
19	アクセル	27.6	663
20	レントラック	26.4	790
21	ジー・モード	25.4	376
22	コナミTYO	25.1	2,574
23	TCB	24.8	161
24	日邦産業	24.6	946
25	クリップ	24.6	315
26	コーエ	24.5	590
27	コモ	24.2	255
28	サイバード	23.9	1,073
29	クラブビット	23.8	533
30	Yアリーバ	23.7	223
31	スターツ	23.4	1,311
32	日本高純度	23.2	460
33	小松ス	22.4	126
34	武蔵精密	22.1	4,150
35	カナレ電気	21.8	789
36	エイジス	21.3	548
37	コナミOSA	21.0	1,227
38	IXI	20.8	345
39	オンキョー	20.6	1,305
40	インフォコム	20.5	1,582
41	沖縄セルラー	20.3	1,773
42	トーマンデバ	20.2	749
43	キンレイ	20.0	1,548
44	ゲオ	19.8	1,730
45	カーディナル	19.3	188
46	シンプレクス	19.0	231
47	ソフバンテ	18.7	746
48	第一化成	18.5	282
49	郵船航空	18.3	4,631
50	不二ラテ	18.1	220

(注) 2期以上連結実績のない会社は単独。銀行・証券・保険その他金融、変則決算を除く

## 新興3市場 ROE

# マンション販売 上位を占める

前3月期、携帯コンテンツ躍進

日本経済新聞社が十日、新興3市場の上場企業を対象に二〇〇三年三ヶ月の連結株主資本利益率(ROE)をランキングしたところ、マンション販売会社が上位に名を連ねた。携帯電話コンテンツ(情報の内容)会社も目立った。

マンシヨン販売会社では、アーネストワンが二位、フリージャースコーポレーションが五位、菱和ライフクリエイトが六位、サンウッドが七位に入った。低金利を追い風に、販売戸数を伸ばした。アネストワンの最終利益は前の期比二・一倍、サンウッドは三・八倍に伸びた。

マンシヨン会社は借入金による物件の仕込みで総資産が膨らむため、株主資本に比べ利益の額が大きい傾向がある。アネストワンの前期末の株主資本比率は一五・五%、フリージャースは一九・一%だった。

一位のパチンコ・パチスロ販売のフィールズは取り扱い機種が好調で最終利益が過去最高になった。三位のヒュー・マネジメント・ジャパンは企業の人員削減の増加を背景に、再就職支援サービスが急拡大した。四位のヤフーも通信事業の好調に加え、ネット広告も回復した。

携帯コンテンツ会社では、シグノシステムジャパンが十四位、ジー・モードも二十一位に入った。インターネット対応の携帯電話の普及に伴い、月額利用料など定期収入が増え、売り上げを伸ばした。損益分岐点を超えれば利益が大きく増える傾向にある。



株式会社

フージャースコーポレーション

Hoosiers